

資産構成の最適化

HCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者
加入協会

関東財務局長（金商）第430号
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人投資信託協会

<https://www.fromhc.com>

2024.06.11

人+産業金融=成長
成長を支える投資の原点へ



概要

事業価値と企業価値

企業は、一つ以上の事業を営む主体です。企業価値は、企業が営む事業価値の合計ですが、単純な合計ではなく、複数事業を営むことによる事業結合の効果を調整したものです。事業結合の効果は、必ずしも、正の価値とは限らず、しばしば、大きな負の価値となります。

事業金融と経営効率

事業金融において、資金調達を会計的に企業本体から分離させることができれば、企業の貸借対照表を小さくすることができ、また、負債比率を低下させるなどの効果により、経営効率諸指標の改善や、信用格付への好影響などが見込めます。

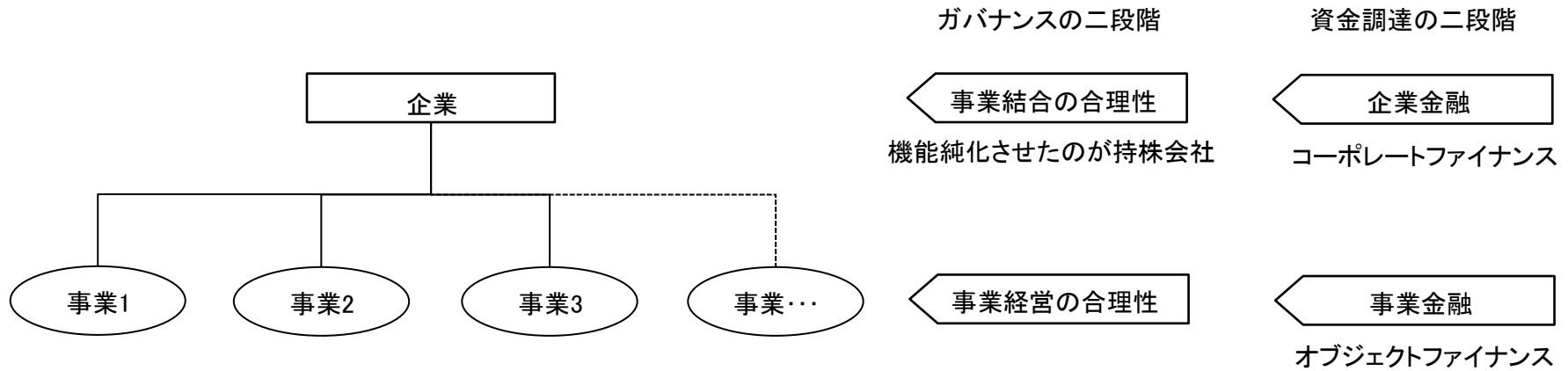
事業投資と企業投資

企業に投資するということは、原点において、企業の営む事業に投資することです。企業が一つの事業を営むだけならば、企業投資と事業投資は一致するわけですが、複数事業を営む企業への投資は、事業結合への投資として、企業投資としての固有の意味をもちます。

アセットライト

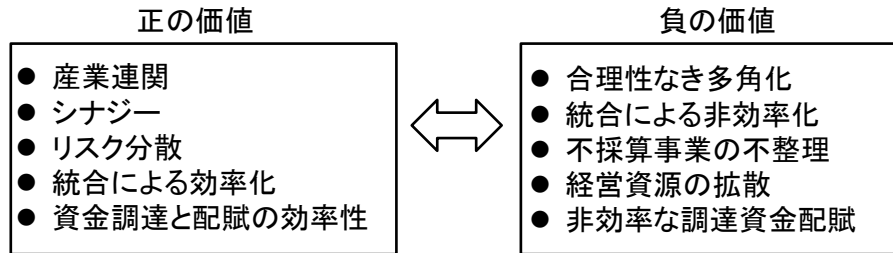
アセットライトは、asset light で、資産を軽くすること、即ち資産保有を必要最小限にすることです。不要不急の資産はおろか、事業に欠くことのできない資産すら極力保有しないようにする経営戦略です。こうして金融の構造を変えることは、量的には、拡大より縮小に帰結する可能性が大きいですが、同時に、質的な高度化により収益性を高める可能性も大きくなります。この質的成長こそ、日本の金融機関に課せられた課題です。

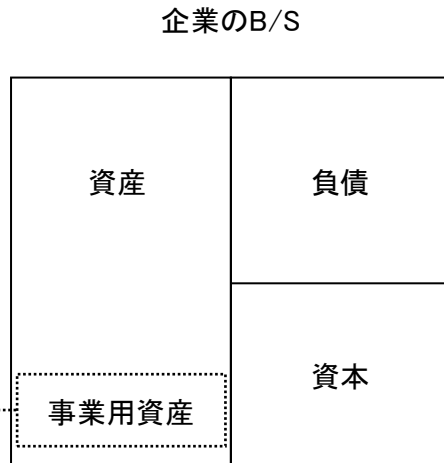
企業価値と事業価値



$$\text{企業価値} = \text{事業価値1} + \text{事業価値2} + \text{事業価値3} + \dots + \text{事業結合の付加価値}$$

$$\text{事業結合の付加価値} = \text{事業結合の合理性}$$





アセットライトとは

- コーポレートガバナンス改革が徹底されるとともに、持たなくても事業活動に支障がない資産の売却が進む
- アセットライトとは、そこからさらに、事業に欠くことのできない資産すら極力保有しないようにする経営戦略をいう

アセットライトの対象資産

- リースバックする前提の事業用資産（セール&リースバック）
 - 例1： 航空会社が、自社の飛行機を売却し、機体はオペレーティングリースを利用
 - 例2： ホテル事業者等サービス業が、不動産保有を最小化
- 子会社株式
 - 例1： 子会社株式を合同会社に譲渡、合同会社の持分を売却後、合同会社の経営を受託

講演後アンケート

今後の運営に活かしたく、下記リンクよりご意見やご感想いただけますと幸いです。

アンケートURL: <https://forms.gle/zccrJ4juuaXXdMQy6>

- 本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討を行うものであり、当社が行う金融商品取引業の内容に関する情報提供及び関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。